

ゴーヤーで省エネ

5/31
四日

県庁に付属
高松小児童
「緑のカーテン」設置

電力需要が増加する夏場の節電対策として、県は30日、県庁舎のガラス面をゴーヤーなどのつる植物で覆

う「緑のカーテン」を設置した。作業には近くの付属高松小（小川育子校長）の4年生36人が参加し、苗の成長を祈りながら一本一本丁寧に植えた。

緑のカーテンの設置は2011年から実施しており、今年で3回目。この日は県庁2階食堂東側のガラス面に、幅20メートル、高さ4メートルの網棚を設け、子どもたちがスコップを使ってプランターにアサガオとゴーヤー

ゴーヤーやアサガオの苗を丁寧に植え付ける児童
＝県庁

を26本ずつ植え付けた。児童はCO₂の排出量と地



球温暖化の
関係や、緑
のカーテン
の効果など
についても
学習。綾校
来さん(9)
は「食堂を
使う人に涼
しさを感じ
てもらえ
らうれし
い」と話し
ていた。
緑のカー
テンはこの
ほか、東館
と議会議場を結ぶ連絡通路東
側や、県環境保健研究セン
ター（高松市朝日町）、県
西議農業改良普及センター
（三豊市豊中町）にも設置。
また、今回は追肥として、
廃棄するごみから作られ
た液肥を使用する予定。